



普通科でもSPH関連の内容を取り上げてます。

SPH事業は、学校全体での取組のため、日常の普通科目の授業においても本校SPH事業のテーマである、地中熱利用について授業が行われています。

「科学と人間生活」のエネルギーの利用という単元で、地中熱の温度と、新潟での活用事例に触れてた内容でした。



建築設備科1年生のクラスでの授業風景

SPH事業の取り組みは、小学科独自の研究とエネルギー問題について全科で横断した研究を行っていく。普通科目においてもエネルギー問題について勉強し、課題を発見できるよう取り組んでいる。



日常の授業の中での取り組みとして実施

【スキルアップシートより生徒の感想】

- 地中温度と外気の温度の変化と差を知ることができた。効率よくエネルギーを使い良い環境にしたいと思った。
- ロードヒーティングで雪を溶かし、道路での滑る事故をなくす点で興味が深まった。
- これから自分たちが省エネ住宅を作るので、そのため空調設備の勉強をしたい。
- 省エネ住宅はどのような空調設備をしているのかわかった。
- 熱は一方通行なので寒ければ寒いほど暖かい熱が流れる仕組みを知った。
- 土木と設備はかかわりが無いと思っていたけど色々つながっていることに気づいた。



【生徒の変容と身についた力】

- 地中熱以外にも利用できるエネルギーがないか、と考えるようになった。
- エネルギーの安全性について考えるようになった。